

ご協力ありがとうございます！

【4月の寄付品】 小林栄二、早良高等学校、ひよどり精肉店、牛島明
樋口知佐子、中村幸子

【4月の新入会】 有限会社大倉織物、三苦静香、藤野和有基、吉田彩
税理士法人 TA パートナース、株式会社平和送電、有限会社 DCE

防災訓練実施

4月27日、西日本研修センターでは令和5年度の防災訓練を実施しました。はじめに防災ビデオを視聴して、火災発生時の安全確保や早い段階の避難方法、また地震発生時の対処法などについて学びました。実地訓練では実際に全館に非常ベルが流れるとスタッフ、研修生は素早く煙を避けるように低い姿勢で屋外へ避難、災害発生時の対応から全員の避難が安全に完了するまでの手順などの訓練を通して全体の防災意識を高める機会になりました。寿防災メンテナンス会社の皆様ご指導ありがとうございました。(満川)



防災ビデオの視聴



消火器の放水訓練

農場の研修風景

温暖化の影響か、年々季節の移り変わりが早くなり、春を通り超えて夏が来たり、今年も例年より暑いというイメージがあるかと思います。そのような中で、4月に入るとホームセンターの軒先では様々な種類の夏野菜の苗が販売されています。「4月の上旬はまだ寒いから苗を植えるにはまだ寒いんだけど」と思いながら並べられた苗を横目を通り過ぎているのですが、センターではそのような状況も考えて、早くても4月15日以降に定植をするようにしています。それでもなんと、今年は15日以降に定植した苗が寒さで風邪をひいてしまったのです。今年は、日中がとても暑いのですが、朝の冷え込みが割合に強く、4月の下旬に入っても時々センターの温度計で5度をさす日もありました。温かい苗場で育てられた野菜の苗が、急に気温が5度の世界に出されたらさすがに風邪をひいてしまい、苗が弱って生育が出来なくなってしまうのです。今年のオイスカの農園では、苗の植えなおしが結構多いです。(豊田)

5月の予定

- 13日 2023年度海外研修生入所式(10:30～)
- 17日 日本 NGO 連携無償資金協力事業の視察(インドネシアより17名来日)
- 20日 生松台ふれあい市(10:00～12:00 中央公園)
- 20日 日本 NGO 連携無償資金協力事業活動報告

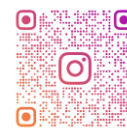
体験農園だより

4月は植付シーズンで、おおよその野菜の植付が終わりました。雨天により作業ができない日もありましたが、毎週約20組の方がお越しになりました。例年、この時期に10種類ほど野菜を植えつけおり、だいぶボリュームーな内容でしたが、楽しんで作業をしてもらえたようです。

また4月15、22日に行われたタケノコ堀では両日それぞれ20名以上の方が参加されました。昨年は裏年であり収穫できませんでしたでしたが、今年は表年ということもあって、皆様に満足いただけるほどたくさん収穫でき、春のオイスカを味わっていただきました(飯川)



まるごと!西日本



@OISCA_NTC

Instagram

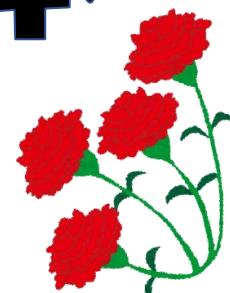


facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

2023年5月号

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!



西日本支部第24回運営委員会

4月21日、第24回オイスカ西日本支部運営委員会が九州電力で開催され、運営委員長の辻真一様(九州電力(株)総務部長)はじめ運営委員企業8社よりご出席をいただきました。委員会では令和4年度事業、収支決算報告及び令和5年度の事業計画、予算をご審議いただき承認されました。令和5年度は海外研修生9名の在籍で行動制限も緩和されていく中、環境保全型農業者育成研修が始まりました。今年度から西日本支部管内での活動も徐々に広げ、多くの方々にご参加をいただき取り組みを活発にして認知度をアップしてまいります。運営委員の皆様にはオイスカ活動にご賛同頂き、本委員会でご審議いただいた内容をもとに、これから西日本支部幹事会を開催させていただくことになります。運営委員会の皆様ありがとうございました。(満川)



西日本支部運営委員会
於:九州電力



室町ケミカル社員研修 4月17日(月)～20日(木)にかけての4日間、大牟田市にある室町ケミカル株式会社の新入社員5名(男3、女2)が参加して、「生きる力を養おう」をテーマに新入社員研修を実施しました。研修の主な内容は、オイスカ海外研修生と一緒に農業体験やウォーキングを通して、交流を深めながら国際的な感覚を養うと共に、改めて自分の国を見直し、自分の国やふるさとに誇りを持つきっかけになるように多くの体験をしてもらいました。そして、ニワトリの解体や料理づくり、様々な農業体験を通して、日頃食べているお肉や野菜がどのように育てられ、どれだけたくさんの人の手がかかってお店に並び、そして食卓に上がるのかを実感してもらうように指導をしていきました。更に、ニワトリの解体では「命をいただく」ということで、自分が生きていくために多くの命をいただいているということも十分に理解してもらうことが出来ました。4日間という短い時間ではありましたが、研修生ともお互いに仲良くなり、一緒に生活することで、お互いを理解し学び合う良い機会となりました。恐らくオイスカでの経験は、職場ではあまり活かされないでしょうが、彼らが今後生きていくうえで、少しでも参考になればとても嬉しいと思います。(豊田)



福岡イブニングロータリークラブ オイスカ視察

昨年9月に同ロータリークラブにてオイスカ活動の紹介をさせていただきました。そのご縁もあり、4月15日(土)にクラブメンバー及びご家族、約20名がセンターに来所されました。オイスカが行う国際協力及び人材育成がどのようなものかを現地に視察頂き、研修生との交流も行いました。7年前に放映された、「Youは何しに日本へ?」も視聴され、研修概要にご納得いただき、昼食では研修生も含め、にぎやかにBBQでオイスカを満喫して頂きました。早速参加者から今年度のセンター支援クラウドファンディングにもお申込み頂き、今後の支援へとつながりました。ありがとうございました。(廣瀬)



日本語のようす

農業研修生9名は、約 2 か月の基礎研修が終わり、4 月 22 日に基礎研修修了式を行いました。慣れない海外生活の中、毎日勉強の日々でした。新しい言葉を覚えて、文法を理解して、話してみる。上手に言えて伝わったときの笑顔、上手に言えなかったときの笑顔。授業中、睡魔におそわれたり、頭が痛くなったこともあったと思います。レベルの差はありますが、一人一人上達することができました。日本語の文法になれず、練習問題を解くのに苦戦していた B クラスのエムナットさん(カンボジア)、ジョーさん(フィジー)の二人が基礎研修の最後のクラスでは、自ら挙手をして問題を答えようとする姿勢が見られました。とても嬉しく思いました。同じ目標を持つ仲間がいたからこそ、がんばってこられたのだと思います。本研修では、農業実習中心の日々になります。まだまだ日本語がわからず、困ることも多いと思います。これからは、週 1 回の日本語クラスでサポートしていきたいと思います。



フィリピン技能実習生2名は、2 ヶ月の講習を終えて、4 月 12 日に朝倉にある株式会社万年商店に配属されました。当日は二人とも日本語で立派なスピーチをしてくれました。



インドネシア技能実習生5名が、4 月 7 日に入所しました。インドネシアで 4 か月間、日本語を学習して来ている。授業では、抜けてしまっている文法や、漢字、現場で使用する言葉を指導していきます。5 人とも、日本語を話すことに積極的で、質問もよくします。朝の時間、ショートスピーチをしようかと提案したら、すんなり受け入れ、順番にスピーチをしています。この度胸は、私も見習いたいところです。(立石)



会員さんご紹介 松永誠男様(山口市在住)

オイスカに入会して今年で 50 年になります。振り返ってみると入会した当時は若かったこともあり、オイスカの国内外の活動に参加をしてみたいという気持ちが強くありました。オイスカの理念に賛同して、これまで会員として支援をしてきましたが西日本研修センターでの行事にはあまり参加が出来てなく、研修センターから届くオイスカ誌やまるごと西日本で色んな活動や情報を読ませていただいています。今年の 3 月に永年会員の感謝状を研修センターの方から持参いただき、ミャンマーのティンさんよりオイスカミャンマーでの活動や西日本センターの近況を聞かせていただきました。これからも会員を続けれる限り支援をしてまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。

松永 誠男 様



元乃隅神社
長門市観光スポット



松永さん宅で山口の会員さんに報告をしているティンさん↓



OB 研修生の紹介 今回紹介します OB 研修生は、ミャンマーのラインさんです。ラインさんは 2010 年の研修生で、気持ちがとても強くまさに有言実行のすごい女性でした。私が 6 年前にミャンマーを訪問した際に、シャン州のタウンジーという所で彼女と会い、いろいろと活動報告など話を聞く時間を持ちました。その時も更にレベルアップしたすごい女性になっていましたが、そんなラインさんは今どのような活躍をしているのでしょうか。



◆**帰国後にしていたこと** 2011 年に国へ帰ってからオイスカ ミャンマーセンターで 2013 年まで WFP などの活動をやりました。そして、2014 年から他の日本の NGO(地球市民の会)でこれまで仕事をしています。今の仕事は、貧しい村の中で子どもたちを選んで、私が働いているセンターに3年間預かります。そして、学校へ行きながらそのセンターで農業などを学んだりしています。そして、村へ帰ってからいいリーダーになるようにいろいろ教えます。私は、子どもたちのお母さんになっています。

◆**日本での思い出** 私はいろいろな思い出がありますが、何回も歯医者へ行ったことを覚えています。

◆**好きな日本の料理** 好きな料理は日本のカレーです。

◆**これからの目標** これからも時間をしっかり守るなど、厳しくて優しい子ども達のお母さんとしてがんばりたいです。

◆**オイスカのスタッフやメンバーのみなさんへのコメント** オイスカのみなさま、日本に来た時いろいろとお世話になりました。みなさんも 身体に気を付けてお元気でいてくださいね。機会があったらまた日本に行きたいです。本当にありがとうございました。



以上、ミャンマーでたくさんの子どものお母さんとして頑張っているラインさんでした。彼女は血圧が以前から高かったので身体がちょっと心配ですが、これからも更なる活躍を期待したいと思います。

技能実習生・特定技能者配属、入所

2023 年 4 月 1 日現在、西日本管轄で技能実習生が 7 社 27 名(インドネシア 23 名、フィリピン 3 名)、特定技能者 2 社 3 名(インドネシア)、職種は、建設機械施工、建具製作、鉄工でした。みんなそれぞれの実習先で頑張っています。4 月中旬からは、新たに技能実習生 2 名(フィリピン・工業包装)、特定技能 2 名(インドネシア・飲食品製造業)がそれぞれ配属いたしました。また、4 月 7 日に入国した 5 名(インドネシア)が現在西日本センターで、27 日に 6 名(インドネシア)中部日本研修センターで日本語を中心とした講習を行っています。新型コロナウィルス感染症での入国制限も緩和され、技能実習生・特定技能者の入国も徐々に増えつつあります。今後制度の改正等も検討されていますが、これからの益々の活躍を期待し、応援していきたいと思っています。引き続き農業研修生ともども、よろしくお願いいたします。(彦坂)

